

パラグアイ共和国
地域保健強化プロジェクト
終了時評価報告書

平成 11 年 9 月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

パラグアイ共和国地域保健強化プロジェクトは、平成6年12月1日から5年間の協力期間で、選定地域(カアサパ県)において、全国の地域保健プログラムのモデルとして、活用可能な基本的保健サービス(PHC:プライマリー・ヘルスケア)を開発することを目的として開始されました。

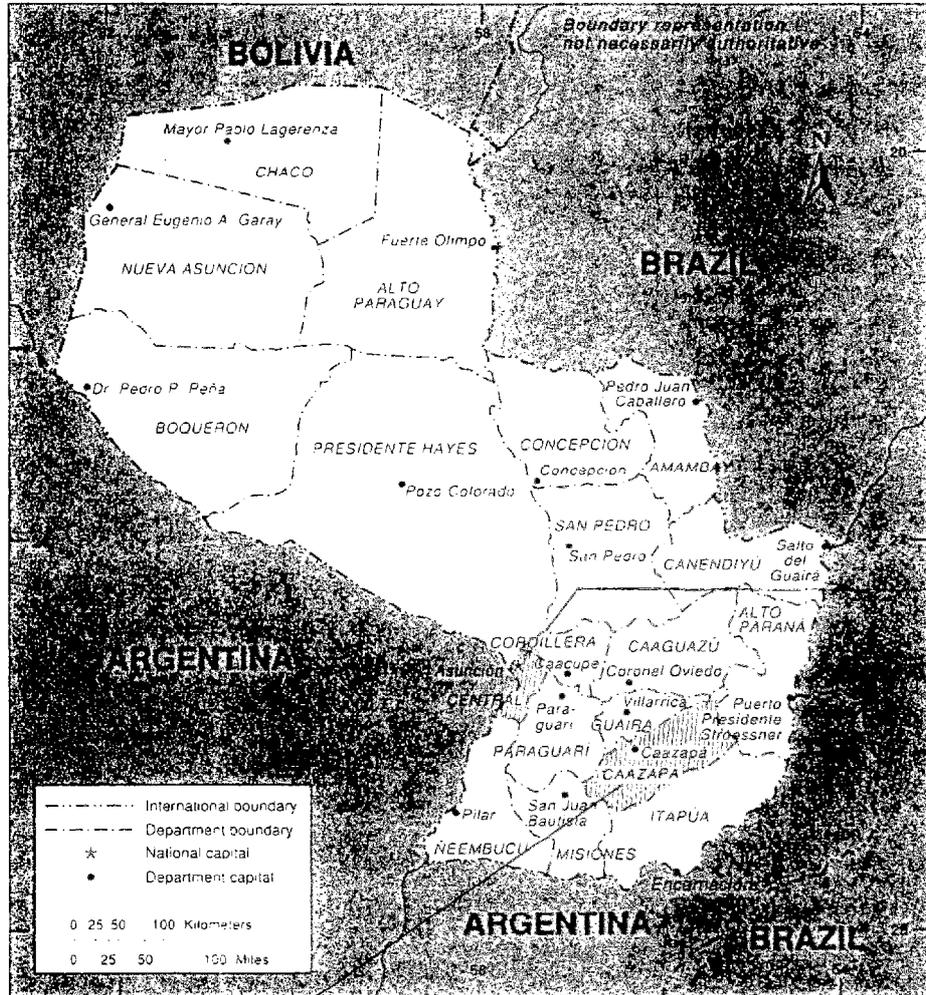
国際協力事業団は、本件実施に係る討議議事録に基づく協力期間が平成11年11月30日をもって終了するのに先立ち、これまでの協力内容などの評価をパラグアイ側と共同で行うため、平成11年7月19日から8月1日まで、山形大学医学部教授 仙道富士郎 氏を団長とする終了時評価調査団を派遣しました。

本報告書は、同調査団が実施した調査及び協議の内容と結果を取りまとめたものです。ここに本調査にご協力を賜りました関係各位に対し深甚なる謝意を表するとともに、今後とも本件技術協力の成功のために更なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成11年9月

国際協力事業団
理事 阿部英樹

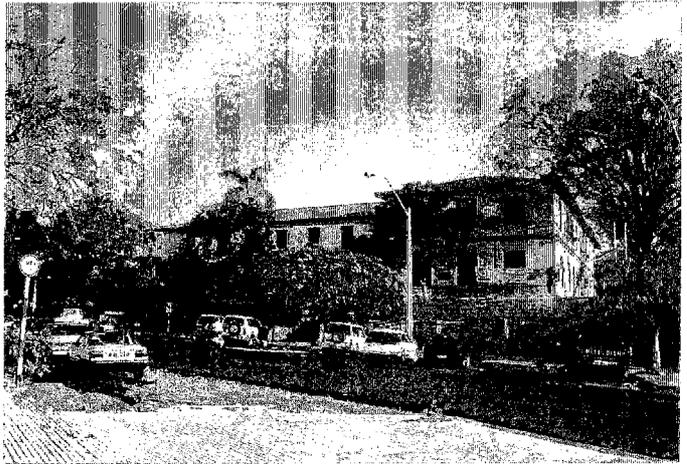
プロジェクトサイト位置図



首都アスンシオン

プロジェクトサイト：カアサパ県





パラグアイ国 厚生省 ▶



厚生大臣表敬 ▶



プロジェクト調整委員会 Joint Committee ▶



合同評価報告書署名・交換 ▶



カアサバ地域病院(1) ▶



カアサバ地域病院(2) ▶

カアサパ地域病院(3) ▶



ボケロン地区保健ポスト視察 ▶



ボケロン地区保健ポスト視察(ラジオ無線) ▶



ボケロン地区住民へのインタビュー ▶



小学校でのインタビュー ▶



巡回診療風景（住民への健康教育）▶



目 次

序 文

プロジェクトサイト位置図

写 真

第 1 章 終了時評価調査団の派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 終了時評価の方法	1
1 - 3 調査団の構成	1
1 - 4 調査日程	2
1 - 5 主要面談者	3
第 2 章 プロジェクト当初計画	6
2 - 1 プロジェクト形成の過程	6
2 - 2 プロジェクト計画の立案	7
2 - 3 プロジェクト実施計画と留意点	10
2 - 4 プロジェクト実績(年度別)	17
2 - 5 プロジェクト実績(投入項目別)	27
第 3 章 調査結果の要約	34
3 - 1 カウンターパートとの協議	34
3 - 2 収集資料の分析	34
3 - 3 カウンターパートのプロジェクトに対する感想	39
3 - 4 プロジェクト調整委員会における他の施設の代表者からのコメント	40
3 - 5 要 約	40
第 4 章 プロジェクトの評価	89
4 - 1 当初計画と実績の比較	89
4 - 2 計画の妥当性	92
4 - 3 効率性	94
4 - 4 目標達成度	96
4 - 5 自立発展性	98
4 - 6 効 果	100

第5章 結論及び提言	101
5 - 1 結論	101
5 - 2 提言	102

資料

1 合同評価報告書(和文)	113
2 合同評価報告書(西文)	130
3 ヘルスセクターレビュー(抜粋)	148
4 母親手帳	156
5 レファラルシステム評価(抜粋)	178